ı .			1.		1, 1		<b>1</b>	100	1	, ,	, ,			1, 1	1. 1	<del>                                      </del>	<del>                                      </del>	
大	カュ	$\mathcal{O}$		8	(C	ま	ま	ボ	五.	الح	الح			12				
量	数	中	ル	け	\ \ \	V)	5		年	て	を	み	て	知	て	4		
$\mathcal{O}$	日	ま	以	ليا	た	ま	カュ	1	八	\$	知	な	き	る	しい	な		私
放	で	で	内	L	人	l	5	が	月		2	さ		た	ま	さ	鶴	た
				ま				投			7		l		L			5
				1		0	瞬					_	た	12	15		島	が
				15		爆	<del></del>					``	0	· \		``		\$
				0	`		1					+		広	0	八	<u> </u>	5
			-	特	埶		7	``							禾人	月	<u></u>	な
		``						広	_		0				-			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
1	1	1.4					III			1	1				10			논
7			14							1					7.5	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	12	
							色					月リ		_				\ \
0	す	ん		地	け	キ	$\mathcal{O}$			0	九	に			和	八	六	け
放	0	Fi	膚	カン	た	口	ま	5	子	L	年	広		記	0)	時	年	な
射	さ	0	だ	ら	部	メ	ち	は	爆	カュ	前	島		念	大	+		V >
線	5	人	け	1.2	分	]	12	色		L	$\mathcal{O}$	で		式	切	五	秋	7
は	12	が	で	キ	$\mathcal{O}$	1	な	鮮	$\mathcal{O}$	`	広	あ		典	さ	分	Щ	کے
	原		な	口	皮	ル	7		リ			2				12		
人		$\mathcal{O}$		メ		以	7			九		た				何	咲	
間	は	日		1	を	内	l		ル	兀	`			加	5	を		
	の放射線を出しました。放射線は、人	量の放射線を出しました。放射線は、人数日で亡くなったそうです。 さらに原爆	量の放射線を出しました。放射線は、人数日で亡くなったそうです。さらに原爆中まで傷つけられ、ほとんどの人がその	量の放射線を出しました。放射線は、人中まで傷つけられ、ほとんどの人がその  小以内にいた人たちは、皮膚だけでなく	型の放射線を出しました。放射線は、人中まで傷つけられ、ほとんどの人がその中まで傷つけられ、ほとんどの人がその中までよったのにないに、   はどしました。特に爆心地から1.2キロメ	型の放射線を出しました。放射線は、人 ル以内にいた人たちは、類線を受けた部分の皮膚 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその 大 量の放射線を出しました。対 がら1.2キロメ	型の放射線を出しました。放射線は、人 では、たちは、熱線を受けた部分の皮膚 では、なったそうです。さらに原爆 ではくなったそうです。さらに原爆 型の放射線を出しました。放射線は、人 がました。爆心地から1.2 ではくなったそうです。さらに原爆 ではくなったそうです。ならに原爆	量の放射線を出しました。放射線は、人 いました。爆心地から3.5キロメートル以 いました。特に爆心地から1.2キロメ 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその やまで傷つけられ、ほとんどの人がその を がしてくなったそうです。さらになって を がその がその がその	量の放射線を出しました。放射線は、人 下ました。爆心地から3.5 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその で亡くなったそうです。さらになって 1 イが投下され、広島のまちは色鮮やか 上でなく の放射線を出しました。放射線は、人	年八月六日八時十五分に原子爆弾のリト 一はどしました。爆心地から3.5 中まで傷つけられ、広島のまちになって がた人たちは、熱線を受けた部分の皮膚 で亡くなったそうです。さらに原子 爆弾のリト	世界の放射線を出しました。放射線は、人内は、 一十十が投下され、広島のまちは色鮮やかなまで傷つけられ、広島のまちになって では、熱線を受けた部分の皮膚がは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きになって 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその 大きは、大きは、皮膚だけでなく ではくなったそうです。さらに原外 のようになって	を知っていますか。七十九年前の広島は であたりにいた人たちは、熱線を受けた部分の皮膚でして、なったそうです。さらに原子爆弾のリトル以内にいた人たちは、熱線を受けた部分の皮膚だけでなった。は、は、は、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大き	本なさんは、七十九年前に広島であった を知っていますか。七十九年前の広島は でも賑やかなまちでした。しかし、一九 にとした。爆心地から3.5 中まで傷つけられ、広島のまちは色鮮やからでした。特に爆心地から3.5 中まで傷つけられ、ほとんどの人がその皮膚がけてなったとうです。さらに原子爆弾のリトル以の大きは、熱線を受けた部分の皮膚がけてなった。した。たちは、皮膚だけでなった。は、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大きは、大き	マルンは、とした。 一年八月六日八時十五分に原子爆弾のリトーイが投下され、広島のまちは色鮮やから一瞬にして、灰色のまちは色鮮やからしました。特に爆心地から3.5キロメートル以内にいた人たちは、熱線を受けた部分の皮膚でして、なったそうです。さらに原爆ルルから1.2キロメートル以内にいた人たちは、熱線を受けた部分の皮膚だけでなく、まで傷つけられ、ほとんどの人がその皮膚でして、なったそうです。さらに原爆ルルから1.2キロメートル以内にはなったとは、大きは、皮膚だけでなくの大きは、大きは、皮膚だけでなくの大きは、大きは、皮膚だけでなくの人がその皮膚がある。	一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日   一日	型の放射線を出しました。  大切さを   でした。  下した。  大切さを   でした。  下した。  下しため	□ では、	<ul> <li>量の放射線を出した。</li> <li>一口がました。</li> <li>一口がました。</li> <li>一口がました。</li> <li>一口がました。</li> <li>一口がました。</li> <li>一口がた人たちは、</li> <li>一口がた人たちは、</li> <li>一口がた人たちは、</li> <li>一口がた人たちは、</li> <li>一口がた人たちは、</li> <li>一大切さをされ、</li> <li>一大のよちは、</li> <li>一大のよちは、</li> <li>一大のよちは、</li> <li>一大のよちは、</li> <li>一大の人がその人がその人がそのよりに</li> <li>一大の人がそのよりに</li> <li>一大のよりに</li> <li< td=""></li<></ul>

1			,		1	, I	J.1	,	7.				1		1	)	7	Jam	
す		思	カン	人	信	人	約	ん	な	$\mathcal{O}$	そ	$\mathcal{O}$	九	ら	す	に		細	$\mathcal{O}$
0	私	え	悪		じ	0)	七	0	2	出	う	広	匹	自	ぐ	亡	1	胞	奥
平	が	ま	い	亡	ら	倍	万	考	て	来	で	島	五	ш.	に	<	ル	が	深
和		せ		<	れ	0)	人	え	L	事	す	12	年	病	傷	な	以	壊	<
記	番	ん	کے	な	ま	人	で	て	ま	で	0	い	$\mathcal{O}$	8	7	り	内	れ	ま
念	印	0	を	2	す	た	す	み	2	広	た	た	う	色	け	ま	12	て	で
公	象		L	て	カゝ	5	0	て	た	島	2	$\equiv$	ち	Þ	る	L	受	L	入
園	12		た	l	0	が	寉鳥	<	0)	12	た	+	12	な	だ	た	け	ま	り
12	残		$\mathcal{O}$	ま	あ	亡	ケ	だ	で	<i>\\</i> \	_	五.	亡	が	け	0	た	٧١	
は	2		で	2	$\mathcal{O}$	<	島	さ	す	た	発	万	<	ん	で	放	人	ま	大
	た		L	た	日	な	市	V	0	+	$\mathcal{O}$	人	な	を	な	射	$\mathcal{O}$	す	量
原	0)		よ	+	広	2	12	0	私	兀	原	0)	2	引	<	線	多	0	12
爆	は		う	匹	島	て	住	鶴	12	万	爆	う	た	き	`	$\mathcal{O}$	<	放	受
$\mathcal{O}$	平		カン	万	12	L	ん	ケ	は	人	で	5	人	起	何	恐	は	射	け
子	和		0	人	<b>\( \)</b>	ま	で	島	想	$\mathcal{O}$		$\mathcal{O}$	は	7	年	ろ	そ	線	る
0	記		私	0	た	2	<b>\</b> \	市	像	人	た	+		L	\$	L	$\mathcal{O}$	を	논
像	念		12	人	三	た	る	0)	で	々	2	匹	八	ま	た	さ	日	_	体
を	公		は	々	+	0)	約	人	き	が	た	万	月	す	2	は	0)	キ	0
は	園		そ	は	五	で	七	П	ま	亡		人	六	0	て	人	う	口	中
じ	で		う	何	万	す	万	は	せ	<	瞬	だ	日	_	カュ	を	5	メ	0
			-			0					1 1							20	0 × 20

5	と	あ	め	像	を	呼	子	悲	は	治	り	な	で	運	は	つ	爆	平	め
れ	過	つ	کے	で	慰	び	さ	L	叶	る	鶴	つ	活	動	_	た	$\mathcal{O}$	和	ح
ま	ち	て	言	す	8	カゝ	ん	<b>V</b> >	わ	よ	を	て	発	会	歳	人	子	記	す
L	を	کے	わ	0	る	け	0)	知	な	う	千	L	な	0)	$\mathcal{O}$	物	$\mathcal{O}$	念	る
た	繰	て	れ	ま	た	`	た	5	V)	12	羽	ま	7	IJ	時	は	像	公	た
0	り	\$	て	た	8	原	85	せ	ま	ح	折	V	لتح	レ	に		で	園	<
	返	き	しい	`	12	爆	12	を	ま	鶴	る	ま	\$		被	佐	す	$\mathcal{O}$	3
	さ	れ	た	広	7	で	`	聞	亡	を	لح	l	で	で	爆	々	0	中	ん
	な	<u>\</u>	け	島	<	亡	記	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<	折	願	た	l	ア	l	木	原	で	$\mathcal{O}$
	V)	な	れ	12	ك	<	念	た	な	<i>y</i>	V)	0	た	>	ま	禎	爆	特	像
	کے	公	المل	は	れ	な	12	同	2	続	が	あ	が	カ		子	$\mathcal{O}$	12	が
	V)	園	``	七	た	2	な	級	7	け	叶	3	``	1	た	3	子	気	あ
	う	に	今	+	$\mathcal{O}$	た	3	生		ま	う	日日	次	を	0	ん ん	0	12	9
	強	な	は	五	が	す	<u>t</u>	た	ま	す	لح	\	0	務	六	で	像	な	ま
	V)	2	緑	年	``	~~	0	5	V)	が	聞	禎	年	8	年	す	0	2	l
	意	7	が	草	原	7	を	は	ま	``	き	子	12	3	生	0	モ	た	た
	志	V	た	木	爆	0	作	な	す	そ	`	3	白	ほ	0	禎	デ	0	0
	が	7	7	\$	(I)		3	12	0	0	病	ん ん	血	الخ	秋	子	ル	は	そ
	感	_	3	生	子	لخ	5	か	>	願	気	は	病	元	に	さ	لخ	,	
		度	ん ん	え	(L)	£	ح ا	禎	$\mathcal{O}$	<b>小</b> 只	が	折	12	気	は	ん ん	な	原	7
		区	10	1		ט		门只	\ <b>V</b> \ <i>J</i>	V .	N <sup>2</sup>	ועו	1	X	14	10	′ み		$0 \times 20$

			せ	広	る	丸	>	平	は	V)	(J)	言	て	が	
			ん ん	島	7	さ	れ	和	おお			葉	下	納	広
					1					<u></u>	冥				
			カン	$\mathcal{O}$	ک	ん	は	を	کے	کے	福	が	さ	8	島
			0	)	は	$\mathcal{O}$	`	2	ず	を	を	刻	\ \	5	平
				と	未	平	令	<	れ	誓	祈	ま		れ	和
				を	来	和	和	2	ま	2	り	れ	過	て	都
				知	を	~	6	て	せ	7	`	7	5	お	市
				り	考	$\mathcal{O}$	年	V	ん	V	戦	V	は	り	記
				`	え	誓	>	<	0	ま	争	ま	繰	`	念
				未	る	V	Fi	$\mathcal{O}$	色	す	کے	す	返	中	碑
				来	>	$\mathcal{O}$	t	は	鮮	0	V	0	L	央	12
				$\mathcal{O}$	لح	言	代	私	8		う	す	ま	12	は
				7	0	葉	表	た	カン	願	過	~~	せ	は	`
				ح	皆	で	0)	5	な	う	5	て	ぬ		原
				を	3	す	加	で	日	だ	を	0)	カゝ	安	爆
				考	ん	0	藤	す	常	け	繰	原	ら	5	死
				え	\$	広	3	0	を	で	り	爆	<u> </u>	カゝ	没
				7	今	島	ん		守	は	返	犠	ح	12	者
				み		を	لح		ŋ	平	さ	牲	<i>\\</i> \	眠	名
				ま	度	知	石		`	和	な	者	う	2	簿
										*			-		$0 \times 20$